

# 令和4年度第2回千歳市卸売市場運営委員会 議事概要

日 時：令和4年12月21日（水）13:30～15:25

場 所：千歳市役所本庁舎2階 庁議室

出席者：＜委 員＞ 野澤委員、石川委員、及川委員、佐藤委員、中橋委員  
中村委員、齊藤委員、増子委員、阿部委員  
欠席：松浦委員、伊林委員、前野委員  
＜事 務 局＞ 大和産業振興部長、松石産業振興部次長  
朱田公設卸売市場長、小野寺管理係長

## 1 開会

## 2 委嘱状交付

山口市長より各委員に委嘱状が交付された。

## 3 挨拶

山口市長

## 4 委員及び職員紹介

各委員の自己紹介及び事務局紹介がなされた。

## 5 委員長、副委員長選出

委員長及び副委員長の選任について、出席した全委員了承のもと、事務局から「委員長に齊藤委員、副委員長に石川委員、中橋委員」を提案した結果、全会一致で決定した。  
これ以降の議事は、齊藤委員長により進行された。

## 6 会議の公開、会議録の作成について（資料3）

事務局より、資料3「会議の公開と会議録の作成に関する諸規定（抜粋）」に基づき説明した後、委員長から本日の会議は公開とし、会議録の作成方法は発言内容を要約して記録する旨を提案し、委員会として、これを決定した。

## 7 報告事項

### （1）市場のあり方・方向性にかかるこれまでの検討経過（資料4）

事務局より、資料4「市場のあり方・方向性にかかるこれまでの検討経過」に基づき説明を行った。  
委員からの意見、質問等は特になし。

### （2）市場経営戦略検討会における検討内容及び意見について（資料5～7）

野澤委員（検討会座長）より、資料5「市場経営戦略検討会における検討内容及び意見について」及び資料6「市場経営戦略検討会の意見について」を説明した後、事務局から資料7「市場経営戦略検討会の意見について（説明資料）」に基づき補足説明を行った。

### ＜質疑応答＞

- （委 員）現時点では指定管理者制度の導入が難しいとの結論になったとされていますが、もう少し詳細にご説明いただきたい。
- （事 務 局）老朽化した施設で指定管理業務を行う場合はリスクがあって参入メリットが見出しにくいと事業者に判断されるのではないかというのが検討会の意見であった。
- （委 員）市場自体が公の施設に該当するのかをよくよく考えなければならない。  
複数の事業者が入ってこられない施設での指定管理者を導入するのは非常にリスクがある。

市の施設、公の施設になるので指定管理者制度を導入したからといっても民間事業者、収益、儲けるために様々なことをするという考えは駄目だということであり、儲けを出せないデメリットを抱えた中で、指定管理事業を導入するのは非常に難しいと思われる。

(事務局) 指定管理者制度そのものを市場に導入することが難しいとの意見がありましたが、指定管理者制度のあり方そのものが昨今問われている状況ですが、当市場に当てはめて考えた時、どうなのかということを今後委員の皆さま、運営委員会にお示していく。

<質疑応答>

(委員) 今後、市場運営において取扱量などが減少した場合に、卸売市場がどのような役割を果たすことができるのか。  
これまでと同じような市場では、同じ状況になってしまうので、様々な事業展開を考え、新しい形の市場を目指す必要がある。

(事務局) 市場の役割というのは、今の市場であっても新しく建て替えた市場であっても、変わらないが、同じような市場では取扱量や取扱額を増やしていくことが難しいことから、新たな経営戦略を以て取り組んでいくという結論に達したもの。

## 8 議事事項

### (1) 市場経営戦略検討会の意見について

委員長より、報告事項を踏まえて、市場経営戦略検討会の意見について再度意見・質問を求めたが、特になかったことから、今後、本日の討議内容を反映したうえで「市場経営戦略検討会の意見」を基に「市場運営委員会としての意見書草案」を作成し、次回会議で討議することに決定した。

#### ①運営形態（指定管理者制度）について

委員からの意見・質問等は特になし。

#### ②市場の経営戦略と施設整備について

委員からの意見・質問等は特になし。

## 9 その他

委員から、事前に提出された質問の説明があった。

<質疑応答>

(委員) 千歳市場の情報発信について、市民に理解されるような情報発信に努めていただきたい。また、再整備後の経営戦略において、北海道ブランドの野菜や水産を取り扱っていくのであれば情報戦略が欠かせないことから、その分野の戦略も合わせて検討すべきである。

(事務局) 当市場の情報発信については、市ホームページのほか、広報ちとせや生活情報誌「ちゃんと」に定期的に記事を掲載し、情報発信に努めているほか、市場会社のホームページやTwitter、食堂事業者のSNSなどとも連携し、市場PRに努めている。また、昨年からは、市場PRキャラクターを作成し、市場活性化の取り組みを行っているが、今後、他市場の情報発信なども参考にしながら、市民に理解されるような内容の情報発信に努めていく。

事務局から、次の事項について、報告があった。

・次回会議日程について

以上